

第4回Bセンスフォーラム・谷根千コース概要

谷中、根津、千駄木一带は、下町の雰囲気の色濃く残す地域で、「谷根千」として外国人を含む観光客に人気の地となっています。今回は、谷根千で、生き物を素材にした工芸品等の店先を覗き、残された大木を訪ね、江戸前の穴子すしなどの食を楽しんできました。根津駅を出発し、自然食品の店、明治時代の倉庫を改造したうどん店、樹齢600年ともいわれるスダジイの大木、古い民家と共生するヒマラヤスギ、自然素材を使った築地塀、竹工芸の店、下町の雰囲気を残す谷中銀座、旧河川がそのまま道になった“へびみち”、染め物屋、根津神社などを巡り、根津駅に戻る。



自然食品の店“根津の谷”。旬の有機野菜と無農薬玄米、その他天然素材の生活雑貨などを扱う。レストランも併設。



明治43年築の倉庫を改造したうどん店“釜竹”。

もとは屋敷だったところで、隣は緑豊かな老人ホームになっている。





玉林寺のスダジイ（東京都指定天然記念物）。

樹齢 600 年ともいわれる。



みかど屋のヒマラヤスギ。

家と寄り添っている。

かつて入っていた植鉢が割れてそのままにされている。



泥土を突き固め上に屋根をかけた築地塀。

古くより社寺・邸宅などに用いられてきた。





竹工芸の店“翠屋”。

3～5年寝かせた真竹、100年以上も経ている煤竹のほか、ほうび竹・孟宗竹・黒竹・白竹・虎竹など種類豊かな竹の特性を生かした工芸品。



下町の雰囲気が残る谷中銀座。

看板は木製で統一。

有名な“すずき肉店”のメンチカツを堪能。



いたるところに狭い路地が残っている。

軒先には植木や鉢など緑が多い。





へびみち（旧藍染川）。
川を埋めてそのまま道になったため、くねくねしている。（地図を見るとよくわかる。）



染物“丁子屋”。
旧藍染川という地名が示すように、ここではかつては藍染めが行われていた。



約 1900 年前に、日本武尊（ヤマトタケルノミコト）が創祀したと伝えられる根津神社。
ここで、下の写真にある穴子すしの昼食を。



“乃池 “の江戸前穴子すし。

やわらかくて酢がきいて美味しい
(値段は高いですが。。。)。